

しんがりを務めます新党日本の田中康夫でございます。

皆さん、古今東西、増税で景気浮揚した国家はどこにもございません。

まさに「信なくば立たず。」

民の政治への信頼なくして社会は成り立たないと、孔子は申しました。

しかし、今、皆さん、どうでしょう？ 理に叶った方策や説明も打ち出せぬまま、行き当たりばったりの泥縄式の政治が続いています。

泥鰯(どじょう)は泥に鯰(なまず)と書きます。泥に縄を紡ぐこともできない泥縄式の政治に為っているのではございませんか？

皆さん、ちょっと口下手なもので、紙を見ます。(笑)

昨年頭には「税と社会保障の一体改革」と言ったんですよ。ところがやましいのか、何時の間にか、「社会保障と税の一体改革」と字をひっくり返したんですよ。

しかし、こんな、朝三暮四に騙されるほど、日本の国民は愚かではございません。

そして今、皆さん、どうですか？ 税の「単体改革」と言っているんですよ。

だから、各種世論調査で7割を超える真っ当な国民は、今国会で採決など断じて許さぬと言っているわけでございます。

本日は、先ほどご紹介があった産経新聞の田村秀男さんや、モルガンスタンレーMUF G証券のロバート・フェルドマンさんのような真っ当な方は、私たちと同じ思いであります。

しかしながら皆さん、残念ながら少しく頭でっかちな、新聞社の論説委員やTV局の解説委員の方は、連日連夜、社説や番組で、増税しなければ日本が破綻すると、狼少年のような言説を繰り返しています。

しかし、地に足の付いた、まさに「地頭」を持って暮らしていらっしゃる全国津々浦々の真っ当な方々は、このような妄言には思想洗脳されていないわけでございます。

いまやこの手の妄言に思想洗脳被曝されている方々は、この国会の向こう側の首相官邸に立て籠もる、ごくごく一部の方々ではございませんか？

まさに「民、信なくば立たず」でございます。増税もTPPも放射能も、理に叶った説明もないまま猪突猛進をする。

みなさん、「信なくば立たぬ」政治を続ける発展途上国の指導者は、諸外国を歴訪する間に、軍事クーデターで失脚いたします。

しかし私は、鳩山由紀夫さん同様、博愛主義者でございますし、また亀井静香さんや志位和夫さん同様、平和主義者でございますので、いやしくも私どものこの日本の一国の指導者が、そのような哀れな末路に至ることを望むものではございません。

是非とも、メキシコのリゾート地・ロス・カボス G20 へお出掛けになる前に自ら、日本の指導者はその思想洗脳被爆から“解脱”をしていただきたいと私は切に願う一人でございます。

そして皆さん、幾人かの政務三役をお務めになられる政府与党の方が私に、「私も同じ思いである。しかし、立場上言えないのだ」と、おっしゃいました。

何を言ってるんですか、皆さん。

無辜の民を地獄の底に、奈落の底に貶めるような無謀な戦争に猪突猛進する指導者を諫めずして、何が国会議員ですか！ 何が政治家ですか！

そして、選良である前に私どもは、郷土を家族を日本を愛する日本人として、理に叶わぬ事は、是が非でも、最後まで反対し続ける気概を持たねばなりません。

理念無き大政翼賛の密室談合を行っている方々こそ、改めるべきであります。

是非とも皆様とご一緒に、信じられる日本を取り戻すべく最後まで奮闘しようではありませんか？ 宜しくお願い致します。ありがとうございます。